

けやき

1

新宿社協だより

だれもが安心して暮らせる「新宿型福祉コミュニティ」の実現を目指して

謹賀新年



令和もよろしくお願ひいたします

新宿社協職員一同

新年のごあいさつ



社会福祉法人
新宿区社会福祉協議会
会長 大須賀 頼彦

あけましておめでとうございます。
令和に入り初めての新年。皆さまには、健やかにお迎えることとお喜び申し上げます。

昨年は、9月から10月にかけて、15号、19号という大型台風をはじめ度重なる豪雨により、千葉を始め関東近郊の広い範囲で大規模な被害が発生しました。被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

災害発生時に被災者の生活支援に取り組む新宿社協としては、千葉県鋸南町や栃木県佐野市での災害ボランティアセンター運営支援等を行いました。これらの活動を通じ、平時からの備え、関係諸機関との連携、そして何よりも地域のつながりの重要性を改めて痛感いたしました。

地域のつながりは一朝一夕にできるものではなく、日頃からのお付き合い、関わりあいの積み重ねの上にあると考えます。

令和元年は新宿社協第4次経営計画の元年でもありました。私たちのキーワード「つなぐ・育む・広げていく」を実践し、地域の皆さまの多種多様なお力添えをいただきながら、「地域のつながり」をめざし、職員一同努めてまいります。

いよいよ東京オリンピック・パラリンピックの開催も間近となっております。大会には約1万5千人の選手の参加が予定されていますが、ボランティアの方はその7倍、約11万人が東京の街を彩ります。

多くの方のボランティア参加を今後の地域福祉活動に少しでもつなげていくことが、地域での支えあいの核となる新宿社協の使命でもあることへ改めて思いを強くし、今年もひとつひとつ歩んでまいりたいと思います。引き続き、多くの皆さまのご支援をお願い申し上げます。

令和二年 元旦

新春

新宿社協かるた



新宿社協の
今年の抱負です
今年も
地域の皆さんとともに
だれもが住みやすい
新宿のまちを
目指します



相談したいけれども、
どこに連絡したらいいかわからない
身の回りのことでちょっと困っている

今年こそはボランティアをやってみたい

れんらく・そうだん
困ったときの
新宿社協になりたい

このような時は新宿社協を思い出してください。
今年も一番はじめに地域の皆さんとつながる新宿社協でありたい
と思います。

いっしょに
支えあいたい
ごつまで

今年の新宿社協は、より一層皆さんとともに、お互いさまの支援を
通じて、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指します。

何か地域で
始めてみたい

こんなことなら
できるのだけど



新しい年を迎え、新しいことに興味のある方は、ぜひ、新宿社協
までお問合せください。区内 6 か所のボランティアコーナーも、
地域に身近で頼れる窓口として、皆さんの思いを応援します。

家計のことが
心配

老後のこと、
子どもに迷惑かけたくない

総合相談や成年後見センターでは、より専門的な相談にもお応え
します。地域で安心して暮らし続けるためのお手伝いをします。



ワンチームで
がんばります！

新宿社協職員一同で力を合わせ、組織間で連携するワンチームで、
キーワードである「つなぐ・育む・広げていく」を胸に取り組みます。

だれもが安心して暮らせる
新宿のまちを目指します



つなぐ・育む
広げていく

新宿区社会福祉協議会
〒169-0075 新宿区高田馬場1-17-20

TEL:03-5273-2941 (代表) FAX:03-5273-3082
Eメール: houjin@shinjuku-shakyo.jp ホームページ <http://www.shinjuku-shakyo.jp>

★新年の業務は、令和2年1月6日(月)より開始いたします (ただし1月4日(土)は、高田馬場事務所のボランティア相談のみ実施しています)

★新宿社協では視覚障害のある方のために、本誌の「CD」をお貸ししています。ボランティア団体「ぐるーが・カナリヤ」さんのご好意によるものです。どうぞご利用ください。

